




岩盤ボーリング柱状図

調 査 名 榎川支川5 災害関連緊急砂防事業実施設計業務委託（仮称）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 ダム 砂防

ボーリング名				Bor. 2				調査位置		広島県広島市安芸郡府中町みくまり1丁目										北緯		34° 24' 4.6526"					
発注機関				広島県西部建設事務所						調査期間		2019年 7月 30日 ~ 2019年 8月 1日						東経		132° 31' 5.2120"							
調査業者名								主任技師						現場代理人				コ鑑定者						ボーリング責任者			
孔口標高		T. P. 55.31m		角				方位				地盤勾配				使用機種		試験機 東邦D1-B58									
総削孔長		9.00m		度		0°						鉛直 90° 40°		エンジン		ヤンマー-NFD12						ポンプ		東邦BG-3			

標尺	標準高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	色風変硬割れ目	岩の状況	コア採取率 × (%) 最大コア長 RQD [%]	地質時代	事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験		原室位置試験	削孔状況					
										N値	深度-N値図		削孔速度 (cm/h)	削径・チップ・ビット保護	給回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1	55.16	0.15	SF	表土	暗黒灰			植物を含む黑色砂質土壤 原位置真砂褐色化土壤 全体にシルト泥り砂状である。	07/09 ▽ △ ▽				S/M	0.1	60			
2	54.51	0.80		マサ状風化花崗岩	暗黄灰・黄褐・暗灰	w5 h4 E V d DL		花崗岩のマサ状強風化部で軽打で粉体化→砂状化する。 原岩組織は殆ど残存しないが、深部に残存している部分が多い。 軽打で容易に崩壊しなくなり、深部ほど軽打でボロボロに砂状になる。	07/09 ▽ △ ▽	1.15 1.48 2.15 2.45 3.15 3.48	10 16 41		S/Sニシユ I	0.0	0	0		
3	51.31	4.00		強化花崗岩	暗乳灰～淡黄灰	w4 h3 D VI c DM		花崗岩強風部で原岩組織完全残存。 階圧でバラバラに離れることになる。 匙物の粘土化は進んでいない。		4.15 4.28	136		90/B2	0.2				
4	50.31	5.00		風化花崗岩	淡黄灰・淡桃灰	w4 h3 D II c CL		花崗岩風化部、 コア破砕するも柱状完全コアとして採取される。 軽い打撃で砕ける。 径厚比35mmと64mm傾斜40度密着割れ目に厚さ1~2mmの粘土化した白色方解石脈が見られる。		5.15 6.23	188		W/M	60	0.6	W2/6	6	
5	48.42	6.89		安山岩(貫入岩)	暗灰	w3 h2 C IV b CM		安山岩質な貫入岩。 硬質でハンマーの打撃で音響的な金属音を発する。 全体に脈状割れ目が発達する。	08/01 △ ▽	6.11 6.19	188		#/D	0.4	100	0.0	W2/8	8
6	47.56	7.75		風化花崗岩	暗灰～淡桃灰	w2 h2 C III b CL		全体に硬度は増しているが風化し脆い花崗岩。 ピンク色を呈するカリ長石が斑点状に見われる。 縦亀裂が発達しコア採取状態が悪い。		7.00 7.00 7.75 8.00	250		W/M	0.3	60	0.2	W2/6	6
7	46.31	9.00								9.00 9.00			8/I					